【別紙】

令和４年度教育者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者

ふりがな 氏名	よしかわ　せいじ 吉川　誠司	年齢	５９歳
職名	鳥取市立世紀小学校長		
主な功績	・県教育委員会事務局在職中、指導主事として、不登校対策の推進、適応指導教室の運営、スクールカウンセラー事業の推進に尽力した。東部教育局長を務めた際は、家庭学習の質の向上に力を入れて取り組んだ。 ・教頭在職中は、小学校、高等学校、地域との連携において中学校がセンター的機能を発揮するための学校組織マネジメントの在り方を調査研究した。 ・鳥取市立大正小学校長として、算数学習を通した、子どもたちが創る学び合いの授業に取り組むとともに、児童がよりよい人間関係が作れるよう人との出会いを大切にした感動体験活動、異学年交流を重視した教育活動を推進した。 ・鳥取市立世紀小学校長として、学力向上対策として「４０分授業＋スキルタイム」を生活時程の基軸とするとともに、児童の「人間力向上」に向け生徒指導・教育相談活動等の体制を維持・強化し、児童会活動、学級活動を中心とした自治力ある集団づくりに取り組んでいる。		

ふりがな 氏名	なかしま　やすお 中島　靖雄	年齢	５９歳
職名	鳥取県立鳥取東高等学校長		
主な功績	・鳥取県立岩美高等学校長として、文部科学省研究開発学校の指定を受けた研究に取り組み、その成果を基に新たな取組として「イワッツ・ミッション」を実践し、学力向上及び地域貢献に大きな成果を上げた。 ・鳥取県立八頭高等学校長として２年間、卓越した指導力で組織を統括し教育活動の充実に努めた。また、鳥取県高等学校体育連盟会長として、鳥取県高等学校総合体育大会の企画・運営に関わり全県的な視野で運動部活動の推進に尽力した。 ・鳥取県立鳥取東高等学校長として、令和４年度に創立百周年記念事業を手がけるとともに、大規模普通科高校において、優れた教育的識見と卓越した指導力を持って学校経営にあたった。学校教育目標の実現に向けて、リーダーシップを遺憾なく発揮し厳しい姿勢で取り組んだ。 ・県高等学校長協会長としても、リーダーシップを遺憾なく発揮し、各校長の相談相手として信頼を得るなど県高等学校の発展に寄与した。		

ふりがな 氏名	あだち　かずほ 足立　一穂	年齢	５９歳
職名	鳥取県立皆生養護学校長		
主な功績	・教諭として教育に対する熱い思いを持ち教育活動に取り組んだ。特に、特別支援学校においては、進路指導主事として児童生徒の社会参加と自立のための教育に邁進した。 ・平成２１年４月に特別支援教育課指導主事として勤務以降、県内初の高等特別支援学校である琴の浦高等特別支援学校の設置に尽力し、平成２４年１０月の開校に導いた。開校後は、初代校長として勤務し、職員集団の先頭に立ち学校の礎を築いた。 ・平成２８年４月に鳥取県教育委員会事務局参事監兼特別支援教育課長に着任し、西部地区の病弱教育の拠点として、鳥取県立皆生養護学校皆浜分校を設置するなど、鳥取県の特別支援教育推進に尽力した。 ・平成３０年４月から鳥取県立米子養護学校長、令和３年４月から鳥取県立皆生養護学校長を歴任し、勤務校の規模や障がい種、実態に即した学校経営に力を発揮している。コロナ禍の中、ＩＣＴ機器の積極的な活用を目指した学校づくりを実践し、重度障がい児の遠隔授業に取り組み成果を上げている。		

※年齢は令和４年９月５日時点